

Hondaセーフティナビ 「ランダムソフト」の特徴について



桔梗ヶ原病院
園原和樹

2021年12月5日
第5回日本安全運転・医療研究会

はじめに

I. 医療機関で行う運転支援

運転リハビリテーション

リハビリテーションの意義 = 機能回復

病気の後遺症により自動車の安全な運転に支障を来した患者に対して、運転再開を目的として行われるリハビリテーション。

運転適性の評価

現在の運転支援

病気の後遺症を踏まえた運転再開の可否判断。

II. Hondaセーフティナビ(以下Sナビ)の走行コースが多い(7種類59コース)。

Sナビを用いた運転リハビリテーションを行う際に、走行コースの使い分けが困難であった。そこで、**運転リハビリテーション専用のソフト開発を行った。**

ランダムソフトについて

- I. ドライブシミュレーター(以下DS)を用いた運転リハビリテーションを簡易に実施することができる。
- II. 運転リハビリテーションに使用する走行コースをランダムに選択する。
- III. 誤学習により走行コースや危険場面を覚えることを低減する。
DSを繰り返し実施する問題点として、走行コースや危険場面を覚えることが指摘されている。限局した走行コースを繰り返すことなく、走行コースをランダムに選択することで、DSの走行コースを覚えにくくなる。

走行コースの難易度設定①対象コース

I. 危険予測体験1 ~ 6

II. 危険予測体験7, 8

標準のSナビに存在しない追加コースです。

III. 環境別走行体験雪1, 2 / 雪なし

標準のSナビの環境別走行体験雪から、雪の特殊条件（背景, 道の滑りやすさ）を取り除いたコースです。

走行コースの難易度設定②コース難易度

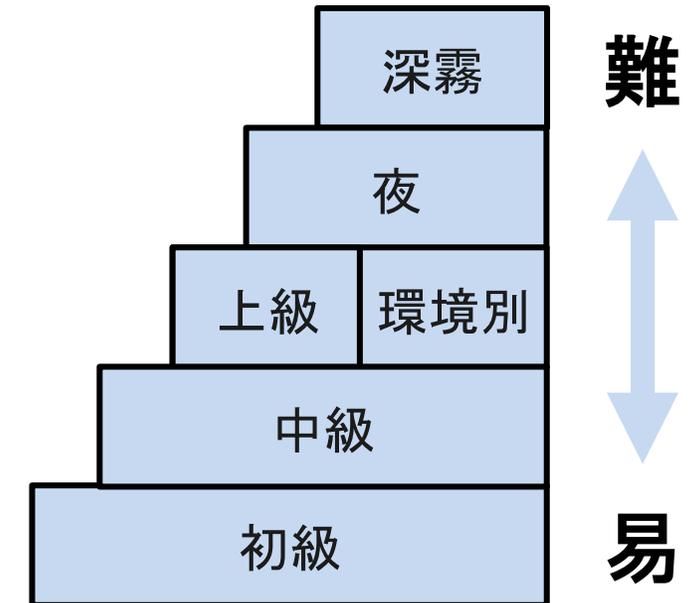
【前提】

- I. 既存の危険予測体験の走行コースと比べて、霧濃度を濃く設定した(以下深霧)。
- II. 夜はロービームでの走行を推奨する。

【難易度】

- I. 昼(初級 < 中級 < 上級) < 夜 < 深霧
- II. 環境別走行体験 = 昼(上級)。

【難易度ピラミッド】



使用方法①ランダムソフト

【コースパッケージ】

対象コースの中から、適切な難易度の走行コースを選出したコースパッケージを作成した(右図の**青枠**全体)。

【ランダムソフト】

I. ランダムソフトでは、コースパッケージの中から走行コースをランダムに一つ選択して実行する(右図の**緑枠コース**)

II. 同一患者に連続して実施する場合、直前に選択した走行コースを再度選択しないようにプログラムされている(右図の**赤字コース**以外を選択)。

[Random1st(例)]

初級 コース1	初級 コース2	初級 コース3
初級 コース4	初級 コース5	初級 コース6
初級 コース1	初級 コース2	初級 コース3
初級 コース4	初級 コース5	初級 コース6
中級 コース1	中級 コース2	中級 コース3
中級 コース4	中級 コース5	中級 コース6

コースパッケージ一覧

【上段】

I. 使用目的

患者に運転リハビリテーションを実施する際に使用する。

II. 構成

- ①Random1st
- ②Random2nd
- ③Random3rd
- ④Random4th
- ⑤最終評価

【下段】

I. 使用目的

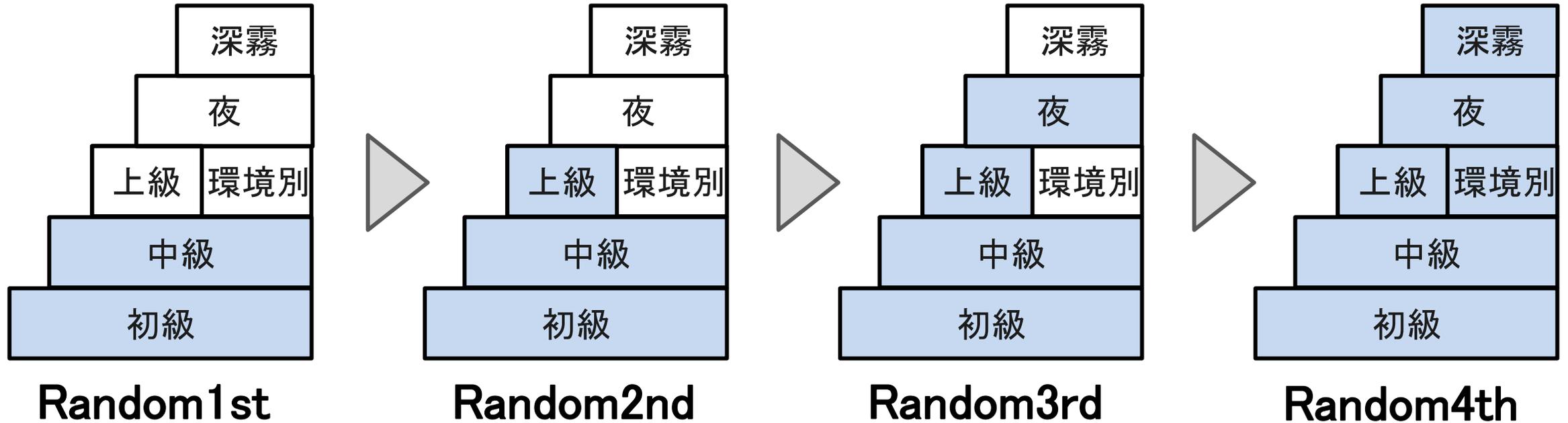
ランダムソフトに追加された走行コースを、医療者が事前に把握するために使用する。

II. 構成

- ①危険予測78
- ②雪比較
- ③霧比較

使用方法② 運転リハビリテーション

運転リハビリテーション



最終評価

最終評価

最後に

I. DSを用いた運転リハビリテーションを行うことを目的として、ランダムソフトは開発された。

II. ランダムソフトの使用により

- ①走行コースをランダムに選択することで、誤学習を低減する。**
- ②適切な難易度の走行コースを用いた運転リハビリテーションを、簡易に実施することができる。**